



# 1000種10万本を 展示販売

会場では開花を迎える木々も販売します



久留米百年公園で、2月8日(木)から26日(月)まで久留米植木まつりを開催します。市内15の植木販売業者が植木・苗木を展示販売。ウメやツバキ、かんきつ類の苗木など、1000種類10万本を楽しめます。入場は無料。時間は9時から16時30分(最終日は16時)までです。今年はおープニング式典で、餅まきを行います。期間中は各店舗で、植物の育て方などの相談も可

能。道の駅くるめでは、出店者が制作した庭園のミニチュアを2月18日(日)まで展示します。

◆こけ玉づくり ■日時2月11日(祝)・23日(祝)10時〜、14時〜 ■定員各10人・先着順 ■料金1200円

◆植木せり市 ■日時2月17日(土)13時〜

◆スワッグ(壁飾り)づくり ■日時2月18日(日)10時〜、11時〜、13時〜、14時〜 ■定員各5人・先着順 ■料金2000円

こけ玉づくりとスワッグづくりの参加者に、植木の購入に使用できる500円クーポン券を配布します。

◎久留米植木まつり実行委員会(田主丸総合支所産業振興課内、☎0943・72・2110、FAX0943・73・2288)



# 映像で親しむ 源氏物語の世界

2月18日(日)に久留米シティプラザ久留米座で「映像で振り返る『雅楽 源氏物語』の魅力」を開催します。令和4年9月に大名有馬家久留米入城四百年記念事業として、「雅楽 源氏物語」を開催。公演の模様を映像で振り返りながら、音楽プロデューサーの野原耕二さんが見どころや雅楽の魅力を解説します。東京楽所の演奏に加え、有馬家現当主・有馬頼史さんの一人娘、里佳さんが十二単をまとい、神楽「天之産」を舞いました。「天之産」は、第10代藩主・有馬頼永の妻、晴姫が詠んだ和歌に曲を付したオリジナルの神楽です。トークゲストに里佳さんも登場。雅楽演奏者は出演しません。ユネスコ無形文化遺産保護条約に

記載された、世界に誇る音楽文化です。宮中の儀式や供宴などの行事でも披露されています。

■日時2月18日(日)13時30分開場。14時開演 ■会場久留米シティプラザ久留米座 ■料金全席指定500円。未就学児の入場はできません

◎久留米シティプラザ(☎0942・36・3000、FAX0942・36・3087)



令和4年に開催された公演の様子。雅楽の演奏や舞が披露されました



# 色とりどりの花が お出迎え

2月25日(日)から4月7日(日)まで石橋文化センターで「春の花まつり」が開催されます。春の訪れを告げるウメを筆頭に、1500本のツバキ、辺り一面をピンク色に染めるサクラ、形も色もさまざまなチューリップなどが順に見頃を迎えます。他にも大小20カ所の花壇にスイセンやポピーなどが植えられ、園内が色とりどりの花であふれます。

期間中は、コンサートやマルシェ、坂本繁二郎旧アトリエの特別公開などを実施します。楽水亭では、見頃を迎える花に合わせたメニューやグッズ販売も。時間は10時から17時まで。夜桜ライトアップ中は20時30分まで開園します。入場は無料。

◎石橋文化センター(☎0942・33・2271、FAX0942・39・7837)



ウメ

ツバキ

サクラ

チューリップ



# 責任を持って 動物と暮らす

犬や猫などのペットは、飼い主にとって大切な家族です。一方で動物が苦手な人や、鳴き声や臭いなどに困る周囲の人にとっては迷惑なことも。みんなが快適に暮らせるまちづくりのために、マナーを守ってペットを飼いましょう。

## 正しいマナーでペットを飼う

犬に登録鑑札や狂犬病予防注射済票を付けることは飼い主の義務です。予防注射は年1回接種が必要です。

首輪や迷子札、マイクロチップなどの飼い主が分かる標識を付けましょう。散歩時に犬が排せつをした場合、飼い主は必ずふんを持ち帰り、尿は洗い流してください。水を持参すると、犬の飲料用や



犬の散歩時はとっさの行動に対応できるよう、必ずリードやハーネスをつなぎ、猫は安全のために室内飼いをしましょう

尿の洗い流し用としても利用できます。

猫は年に2、3回出産します。不妊・去勢手術をしなかったために、子猫が増え続けたということも。過剰繁殖による飼育困難を防ぐためにも手術をしましょう。

◎動物管理センター(☎0942・30・1500、FAX0942・30・1788)